



広報 ひがし しらかわ

No.359
H3/2

発行 東白川村・編集企画課
岐阜県加茂郡東白川村神土
〒509-13 ☎05747-8-3111
印刷 下呂印刷株式会社

人口の動き

—1月末住民登録人口から—

世帯数	904世帯
人口	3,497人
転入	2人
転出	6人
出生	2人
死亡	2人

先月と比較して4人減
昨年の同月と比較して
29人減

鬼をはらって福を呼ぶ…

「鬼はぁ外、福はぁ内」。越原保育園の年長組さん12人がふんしたかわいらしい鬼さんに向けて、28人の園児が豆をまいて体の中の悪い鬼を追い出してくれました。この鬼の面は、どれも園児が自分で作ったもの。

どれどれ…どんな鬼がいたのかな。顔じゅうひげだらけの怖い鬼から、目のフリツとしたかわいい鬼までみんないっしょになって逃げて行ったようです。

歳の数だけ豆を取って食べた園児らは、イワシと小豆ご飯にけんちん汁の給食を食べて1つ歳を取りました。



鬼さんにふんした年長さんたち

★ ① 村の環境を考える…

うず高く積み重ねたアルミ缶の山。その中に一人ボツンと身をかがめ作業をするおばあさん。再利用を願った私たちの手を通して処理場へ集ったアルミ缶は、気の遠くなる作業を経て初めて生まれ変わります。



スチール缶や鉄くずが混ざっていないか！ひとつずつ確かめます（処理場にて）



処理施設はパンク寸前 どうすればいいの！

「やつと片づいた！」。不燃物の収集日がやってくると、ホットするお母さん方も多いことでしょう。

あれほど気になっていたゴミの山も、身の回りから消え去ったその場から、どこへ行こうか行方として気にも止めません。

ところが、そのゴミの行き先である可茂衛生センターは、パンク寸前の危機にあります。

村の環境を考えるシリーズ「第一集は、社会的な問題であるゴミに目を向けながら、処理場で見たおばあさんの姿が、今、私たちに何を投げかけているのか考えてみたいと思います。

ゴミの行き場をたずねたら：

いくらか出す量は少なくても、私たちの暮らしから出るゴミの行き先がなくなってしまうたら大変なことです。

さっそく、広報モニターのみなさんといっしょに、パンク寸前にあるという可茂衛生センターの現状について視察してきました。参加したモニターさんは、平の神戸啓子さん、下親田の安江正徳さん、陰地の松岡成子さんと桂川一喜さんの四人です。この衛生センターの現状をよ

り理解していただくためには、まず私たちが出しているゴミとセンターのかかわり合いを知ってもらう必要があります。

というのも、村全体の自家処理率は五〇%と高くその名前すら知らない人が多かったからです。毎月または隔月ごとに収集している金物・ガラス類の不燃物、そして生ゴミなどの可燃物やし尿といった家庭廃棄物は、約一時間の道のりを運ばれ美濃加茂市牧野にあるこの可茂衛生セン



杉山所長に概況を聞くみなさん

ターへと持ち込まれています。昭和三十五年、ゴミとし尿の共同処理を目的に建設されたこの施設は、可茂管内二市九町村から出る家庭廃棄物を一手に引き受けて処理をしており、東白川村も加入する可茂衛生施設利用組合がその管理・運営を行っています。



処理施設の外觀



施設の状況を詳しく説明してくれた担当の後藤さん

地球にやさしい処理が自慢!

テレビや新聞で見るゴミ処理場のイメージといっしょにしないでください。可茂衛生センターは、埋め立て方式ではなく、「資源化処理方式」という地球環境にとってもやさしい方法を取っています。

ガラス類、金物類、粗大ゴミなどは、資源としてきちんと分別し再利用業者へ引き取らせ、

生ゴミや処理をしたし尿は燃えるゴミとして完全焼却して煙と灰だけです。煙といつてもにおいのない水蒸気だけ。悪臭も有機物ですから分解して焼やし、塩素の含んだ有毒ガスは電気分解で除却しますから無公害。そして、完全燃焼した灰のみ敷地内に埋め立てています。

今年中にも最悪な事態に：

村から持ち込まれる量は、可燃物、可燃物を合せて年間約百二十八ト（平成元年）。そこへ可茂地区内の残り二市八町のゴミが加わると、一挙に三万五千八十二トにもなります。自家処理率の高い本村が占める割合は、わずか〇・四％とセンターの一日の処理量にしか値いしません。これをゴミの分類別に見ると、村の一年分のし尿は約二日、可燃ゴミは約八時間、ガラスは約三日、金物でさえ約五日間もあれば処理できます。

現在、センターへ持ち込まれ

る生ゴミなどの可燃物の量は、一日平均百六ト。これは、村から出す量の三年分に値いします。これを処理するゴミ焼却施設の能力は、十六時間稼働で百ト。

ここですでに六十分の生ゴミが処理出来ないわけですが、センターではこの分を二十四時間フル稼働体制を取ることによって補っていました。それも現役バリバリの施設ならともかく、十年の耐用年数に達しようかという老体にムチ打って、昭和六三年から三年間、休むことなく働き続けているのです。

そんな不都合もなく、ゴミの量は前年対比一〇％の割りで増え続けていました。古い施設をさらに酷使し、一日最大百二十トまで処理能力を引き上げたにしても、平成三年度中には、そ

れを食いつぶしてしまうまさに、致命的なバンク状態に直面しているのです。ただし、それも施設が順調に稼働してくれた場合のこと。

これについて杉山所長は、「新しい施設を作るにしても五年はかかる。この事態を乗り切るには、今からでもすぐに減量作戦を実施してもらいたい」

ゴミの増加とあいまって、浮上した施設の老朽化と酷使という問題は、この施設を運営する私たちの村をも含めた二市九町村の肩に重くのしかかっています。

ゴミ収集有料化の検討も：

ふと思いつくのがこの施設の運営費と処理費はいったいどこから：という素朴な疑問。生ゴミ

ミを入れる袋は、十袋千五百円。し尿の場合は、汲み取り料が徴収されますが、これらはすべて中間運搬業者に入っているもので、処理費に

当たる分ではありません。実は、このセンターを管理・運営している可茂衛生施設利用組合へは、処理費と建設費を含めた負担金として村から年間九百二十万円（平成元年）余を納めているのです。

つまり、私たちの暮らしから出るゴミ一トにつき約二万円の村費を使っていることになりました。しかし、こうした町村負担にも限界があり、ゴミ収集の有料化が検討されるころまで事態は深刻化してきています。

再利用への道が危機を救う！

ゴミ収集が有料化になったとしたら家計に響くと同時に、不法投棄を誘発する原因にもなりかねません。では、どうしたらゴミを減量出来るのでしょうか。その一つは、

作業員の手を煩わせているために、施設の効率を下げている要因をまず取り除くことから始まります。この衛生センターには、一日五十トの処理能力をもつ粗大ゴミ処理施設



木曾川の河畔にある

があります。現在のところその三割程度しか動いていません。ゴミがないのではなく、ボンベなどの爆発物を見つける作業に相当の手間を要しているからです。一斗缶に入っていた油を頭からかぶったり、金物にガラスが混ざってケガをしたりと、非常に危険が多いのもマナーが守られていないためです。

危機を救う第一歩は、まず分別集取の約束を守ることです。そして次に取り組む課題は、処理場へ向うゴミの減量作戦を展開することです。その減量作戦について座談会で意見を聞きま

した。（次ページへつづく）



施設を見学するモニターのみなさん



新しい工夫と、再利用への努力を！

広報座談会より



議会からの出席者
田口総務委員長さん

再び買物カゴが見直される時代に

資源の有効利用、リサイクルで減量へのテーマに、議会、商工会、婦人会、消費者、小・中学校、ボランティアの立場でお願いした十七人のみなさんと、広報モニターを囲んでの座談会では、このテーマへの切り口として「家庭で困っていること。また、こんな利用をしている。こんなゴミ減らしをしている」といったことから話を進めたところ、今からでもすぐ始められるアイデアや提案がありました。

今井真子さんは、「お年寄りの健康づくりに梱包用のビニールひもを使ったカゴ作りはどうか。指先を使うと頭の体操になる」とも聞いているから。田口恵津さんは「買物袋をもらわないように自分のカゴで、チラシは手帳のかわりに使っている」。

辞書で「ごみ」を引くと「物のくず、不要になったもの、役に立たないもの」と説明しています。処理場へと持ち込まれたゴミのすべてが、果たしてその言葉どおりでしょうか。今、処理場へ向うゴミの削減手段として期待を集めているのが資源の有効利用につながる「リサイクル運動」です。村の中ではさほど頭を悩ましていないゴミの減量対策も、自然環境を守る立場から取り組んで早過ぎることはない課題だとして、処理場視察の午後、広報座談会を開きました。



消費者代表
村雲隆子さん
(柏本)

松岡成子さんは、「ショッピング袋はそれなりの利用もあるが、過剰である。車に買物カゴを積んでおき、仕事の帰りでも利用出来るよう心掛けたい。小学校の榎間先生は、「もったいない」と思い取っておいたものも結局利用出来ず処分している。トレイは教材としての利用も」。松岡美代さんは、「買物カゴに入らないものを入れてきた袋でさえすぐにたまってしまい困っている」。松岡久子さんは「ショッピング袋を燃やした灰は畑に戻せないのが困る。また、総菜のラップやトレイなどあまり過ぎで困っている」。

無駄でありゴミになっ
て困ってい
るもののワ
ーストワン
に上がった
のがビニー
ル製のショ
ッピング袋
とラップ。
そして発泡
スチロール
製のトレイ
でした。
小売業者
の今井武司
さんは、「商
品をトレイを使ってラップする
のは、衛生面と新鮮さと取りや
すさから。現に肉などはラップ
しないと保健所の許可が下りな
いため簡単にいかない問題。ト
レイは便利なものだから使っ
て回収し再利用をする方法を考え
たらどうか？」。

- ～出席者～
- 商工学生会 安江和広さん(平)
 - 小売業部会 今井利夫さん(大沢)
 - 消費者代表 田口恵津さん(平)
 - 小学校教諭 榎間まち子さん
 - 広報モニター 神戸啓子さん
 - 松岡成子さん
- 以下写真にて紹介



婦人会代表
松岡美代さん
(陰地)

買物カゴの普及を組織ぐるみで取り組めたら：



ボランティア代表
今井真子さん(平)

た資源利用を！
手芸などに生かし



小売業部会
今井武司さん

買物カゴは売る側と使う側が手を取り合うことが必要。



商工会事務局長
今井俊郎さん

川上から川下へと声を掛け合
い広げたい運動！



出さ

「もう一点は、商売柄タンポールが多く出るが一年四回の廃品回収では持ちこたえられない、臨時のストック場所が必要」
 商業部会長の安江建夫さんは、「ショッピング袋の経費は業者にとってもバカにならない。しかし、サービスの面からも業者からは口にしづらい。消費者の声が高まってくれば、すぐにも対応を考えたい。図書券に換金する形などで。また、買物カゴと併せて日本人の知恵である、ふろしきを見直してみたら」。

路に生ゴミが流れて来る、川を美しくする心掛けがほしい。小学校の榎間先生は、「子供への教育を含め、廃品回収に協力いただけるような呼び掛けが必要」などの意見が出ていました。
 商工会事務局長の今井俊郎さんは、「青年部で不用紙回収箱の設置を計画しているが、この



消費者代表 松岡久子さん (栃山)

「今日は、建設的な意見をありがとうございました。売る側と使う側の間に立って行政としてもこれを仲立ちし、音頭を取る立場での施策が必要だと実感しました。自分たちの住んでる環境は自分たちで守るんだという考えでの努力が必要だと思っ」という意見が出ていました。

11こと5つも8つ10る村!

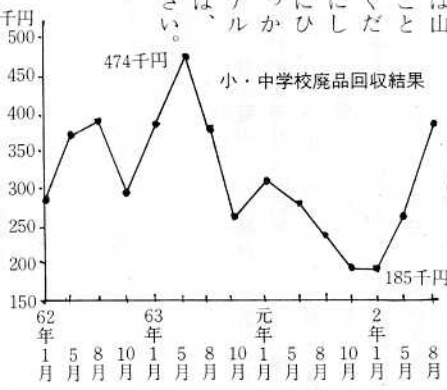
リサイクルは、再利用できる資源を集めることから始まります。

私たちの村で最も有効な方法は、小中学校の廃品回収で、小学校が一月と八月、中学校が五月と十一月にやっているの、それを語呂合せにすると見出しのようになるのです。

この回収で得られた金で、学校図書や教材などが購入され、捨てれば何もならないゴミが教育に役立っているわけです。ちなみに昭和六十三年度は、小中学校合せて約百四十万もの換

金がありました。回収するものと一語当たりの単価は、古新聞(六・五円)雑誌(四・五円)・タンボール(八・五円)・ポロ布(十円)アルミ缶(七十五円)・茶袋(五円)となっており、ピン類は現在のと

量を出してもらいたいのは山々ですが、子供が作業することを考えての荷造りにご協力ください。古新聞は、二つ折りにし厚み十センチほどに重ねて十字にひもをかけ崩れないようにしっかりと縛ってください。また、アルミ缶とスチール缶の見分けは、表示での確認を心掛けて下さい。



商工会商業部会長 安江建夫さん

限りある資源をムダにしている。村ぐるみで余分なことをやめる運動を!



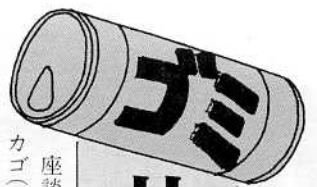
中学校 教諭 村雲先生

社会奉仕作 業で学んだ、ゴミを出さないマナーの面を指導していきたい



広報モニター 桂川一喜さん (陰地)

リサイクルを進めようにも情報がなくて：ルートさえわかれば始められる



リサイクル実践例！

座談会の中で出ていた買ひ物カゴ(袋)、トレイ、アルミ缶などの回収運動は、自治体でこそ例が少ないものの、大手スーパーなどの流通業界では先をきそって新しい試みにチャレンジしています。今回はトレイ回収の実践例を紹介しましょう。

トレイ回収とリサイクル活動

いったん消費者に渡ったトレイを回収して、再利用しようというこの活動の回収方法は、消費者がトレイを洗浄して汚れを取り除き、十枚を一単位としてスーパーに持ち込みます。

トレイを洗浄するのは、原料以外の物質がトレイに付着していると、ポリスチレンペーパーの再生ができないからです。また、汚れたままのトレイでは、回収箱がゴミ箱のように扱われ美観を損ない、運動が前進しないからです。

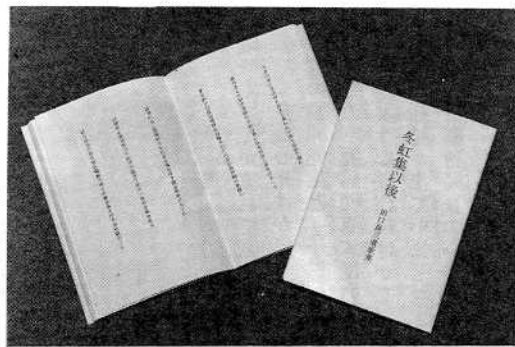
このトレイ洗浄とスーパーへの持ち込みは、消費者負担となり、レジで回収したトレイ十枚につき一個の割合で、スタンプを台紙に押しします。このスタンプが五十個集まると、その買物

客に商品券五百円が進呈され、トレイの一時的保管と商品券はスーパーの負担となります。

ここで集められたトレイは、ディーラー(包材問屋)を経由して、トレイメーカーに回収されます。この運搬はディーラーの負担となります。

そして、メーカー工場では、助燃剤として使うほか、ポリスチレンのペレット(粒)に戻して、物差しやおもちゃの自動車部品をつくるスチレン樹脂原料として活用しています。また、ペレットにする際に発生する熱カロリーをエネルギーへ転換し、発電や温水プールなどにも利用が可能です。

この方法により実験を試みたあるスーパーでは、回収開始後三日目くらいから多くのトレイが集まるようになり、遠方から噂を聞いてトレイを持ち込む人もあったそうです。回収箱に入るトレイは、どれもがきれいに洗浄されており、消費者がいかに「トレイ回収」に関心を持っていたかを示すものであり、店のイメージアップにもなっており、売上げが伸びたという結果でした。



田口さんの遺作集を刊行

とうこう ～冬虹集以後～

県の芸術文化奨励賞の受賞をはじめ村の教育文化の振興に多くの功績を遺された故田口良三さんの第二の歌集「冬虹集以後」がこのほど刊行され、編集に当たられた平の伊藤重雄さんか紹介のたよりを寄せていただきました。

村の偉大な歌人を偲び

田口良三さんが亡なられて早一年になります。

床に就かれ亡くなられる間際まで床にありながら作歌をなされ、頼まれた添削に自らペンを取り、最後はご家族の代筆を頼まれるほど、その歌に対する情熱のほどは並々ならぬものでありました。八十九歳の高令で実に超人間的な行動と田口さんを知る人たちは、この遺歌集「冬虹集以後」をご覧になって驚きかつ、賛辞を表されております。

この様な村の偉大な文化人であった田口さんが遺された歌を通じて、もう一度みなさんに認知していただきたいと私も歌の指導を受けました者たちの、共通の願いでありました。

たまたまどのくらい遺作があるのかと調べましたところ、第一歌集に七〇〇首(コスモス・朝日歌壇、その他)集録され、その後亡くなるまでに一千余首



生前、菊栽培に精を出された田口さん

(コスモス、朝日歌壇、村の公報歌壇、白寿など)と実に驚きでした。内コスモス誌に発表の分、三九一首の中から今回同志が遺歌集の計画をたてたところこのほど上梓の運びとなりました。幸いに歌友多数の方々厚いご協力を得て田口さんの一年忌までに間に合い安堵いたしております。

田口さんは常に芸術と人を愛し、人と歌をこよなく愛され、政治・科学・芸術ありとあらゆる分野の話を下さり時を忘れることしばしばでした。

彫刻は素人離れの腕前で、農民人形、鶉飼人形、ある時は仏像彫刻に打ち込め数々の作品がのこされておられ、その内の一体観音像が東白川村民センター老人の部屋に飾られています。

また絵心、版画等もたいしたもの、八十八歳の折には達磨の一筆描きを配られましたが、

正しくお早めに確定申告を！

今年も所得申告のシーズンを迎えました。平成2年分の所得の申告が必要な人や、所得税の還付申告を必要とされる人は、必要書類を用意して、2月16日から3月15日までの下記の指定相談日に会場へお出掛けください。

〔申告が必要な人は……〕

- ① 事業所得や山林所得などがある人
- ② 2か所以上から給与を受けている人
- ③ 給与所得者で、年末調整がされていない人
- ④ 給与所得者で、給与以外の所得がある人
- ⑤ 給与収入金額（年収）が、1500万円を超える人
- ⑥ 土地などの譲渡所得のある人
- ⑦ そのほか、申告が必要な所得のある人

月 日	対 象 集 落	備 考
2月16日(出)	柏本	◎ 相談会場 村民センター 2階第1会議室
18日(月)	宮代・下野	
19日(火)	大沢・久須見	
20日(水)	曲坂・枋山	
21日(木)	日向1班～4班	
22日(金)	この日は、税務署から通知のあった人のみを対象とします。 (場所 村民センター 農業研修室) (時間 午前10時半～午後3時半)	◎ 相談時間 午前9時から 午後4時30分
25日(月)	日向5班・陰地1班～3班	
26日(火)	陰地4班～6班	
27日(水)	黒淵	◎ 持参品 筆記用具、印鑑 関係書類 ・生命、建物などの保険料の支払証明 ・水稻被害証明 ・医療費領収書 ・森林施業計画証明 ・源泉徴収票など
28日(木)	大明神1班～3班	
3月1日(金)	大明神4班～6班	
2日(土)	下親田・中通(下)	
4日(月)	加舎尾・中通(上)	
5日(火)	上親田	
6日(水)	神付	
7日(木)	大口・中谷	
8日(金)	西洞	
11日(月)	平1班～4班	
12日(火)	平5班～8班	
13日(水)	平9班～12班	
14日(木)	前日までに申告が済んでいない人	
15日(金)	申告・納付期限 (この日までに申告納付されない場合は、加算税額などがかかります)	

誠に見事でした。こうして村の文化の面で後進の指導者でありました事は皆さんもご存じのことです。次にコスモス短歌会と言いますのは、歌人宮柁二氏(故)が北原白秋の流れを汲んで一八九五年「コスモス」という歌誌を創刊されて今年で三十八年、日本の短歌会ではホトトギスと肩を並ぶ大人数の歌壇で田口さんは宮柁二氏を慕われ、コスモスに入会(一九六九年)し、古株の方で中堅の上位であられ幹部の先生方ももちろん、全国的に交流が多く田口さんの歌風を慕って添削の申し込みが多く、過

「冬虹集以後」のご購入は平の伊藤重雄さん宅(有線二五〇二)へご連絡ください。一冊一、二〇〇〇円

労のため晩年はごく限られた少数の方と、ご交際の様子でした。尚、「冬虹集」とは、一九八〇年(昭和五十五年)上梓なされた第一歌集名で「東の間の彩を見せつつ冬の虹うすれゆくなり幽けきかなや」の歌の題名、冬の虹を宮柁二先生がおつけ下された名と伺っております。文・写真提供 伊藤重雄(平)

〇〇防災の誓いを新たに〇〇



新春恒例の東白川村消防団出初式が一月五日、東白川中学校体育館で午前十時から行われ、参議院議員藤井孝男氏、青

山・新藤両県議会議員ほか多数の来賓を迎えて、この一年間の防災の誓いを新たにしました。二月十五日現在で民家火災の無火災記録が三百四十日となっておりこの記録をさらに伸ばせるよう村ぐるみで心がけましょう。当日、表彰を受けられたのは次のみなさんです。(敬称略)

- ◆ 岐阜県消防協会長表彰
〔功労章〕副団長―安江美好・今井直美〔功績章〕分団長―安江裕尚・安江祐策
- ◆ 可茂県事務所長表彰
〔功労章〕分団長―今井秀夫・副分団長―今井日出明
- ◆ 加茂郡消防協会長表彰

- ◆ 〔功績章〕副分団長―安江正樹・安江正大・牧野秀男▽部長―今井利文・安江弘企〔功労章〕分団長―今井秀夫▽副分団長―安江正樹・牧野秀男▽部長―安江玲二・鈴木礼二・安江敏治▽班長―樋口春市・田口喜一・安江章吉▽団員―村雲利治・安江千章・稲垣進・安江隆明
- ◆ 東白川村長表彰
〔特別功労章〕副団長―安江美好・今井直美〔功労章〕部長―安江玲二・安保泰男
- ◆ 東白川村消防団長表彰
〔功績章〕副分団長―今井孝司▽団員―木村恒久・安江利保・今井敬治・古田正貴・田口良之・今井克幸・桂川透・荻田章雄・馬淵祐弘・桂川幸裕・松岡常好・安江稔
- ◆ 〔功労章〕部長―安保泰男・早瀬尚史・村雲佐江樹▽班長今井明生・安江雅彦・安江雅明▽団員―安江良浩・伊藤保夫・安江任弘・田口安範・小池謙二郎・樋口孝祐・安江清造・熊崎昭彦・村雲晴夫・安江好弘・早瀬忠司・今井明徳・安江誠・安江義文・安江友則・田口昌克・安江弘武・安江道雄・安江透守・牧野友紀史・桂川一喜・五斗貢・村雲成男・荻田正敏・長谷川正利・桂川公幸

ひとつ子供を巻き込んで遊んでみようか……

先月号の提言は、東白川小学校長中山健彦先生の視点/活性化の根本は平凡な毎日のくらしの中にこそある……でした。今月は、そんな視点を変えての話題を紹介しましょう。

子供は大人から学ぶ

「悪い子おらんけー」。いつもと変わらぬ平穏な正月を迎えた西洞集落に突如として現われた生はげ。生はげといえは、秋田県男鹿半島地方で行われる正月行事のはず。その生はげがなぜ?などと考えている間にもドンドコドンと太鼓を打つ音が大きく鳴り響き、赤鬼と青鬼が



大きな鬼の面をかぶり蓑(みの)をつけ、木製の刀物を持った即席の生はげ

玄関先にまで近寄って来ました。元旦とはいえ家の中では、「なげやあ、何の騒ぎやあ」と外が気になるものの、まさか生はげが年賀にやってくるなどとは、無論、知るすべもありません。子供たちは、太鼓の音に誘われ玄関へ向う。鬼の手が戸に掛かる。ガラガラと戸が開いた瞬間、写真の形相からすればどんな結果になったかはご想像のとおり。しかし、子供とて泣いて

ばかりいません。居間へは通さぬぞ」と竹刀を持ち出して戦いをいどむ一幕があったものの、じきに正体がバレてなんなく居間へ通された鬼たちは、お節料理をお相伴にあずかり、「こりやあいことやで来年もまたやつてくれよ」と励ましの言葉に祝儀まで付いての歓待を受け少し面食らった思いで西洞集落三十三戸を約四時間かけて回ったのです。

「正月らしい風習がなくなりテレビに明け暮れる三箇日では子供もかわいそう。ひとつ子供を巻き込んで遊んでみようか」そんな発想で仕掛けたこの生はげでしたが、集落の評価は集まった祝儀の金額でも一目瞭然。予想もしなかった五万円もの祝儀は西洞組に寄付と相成りました。

「村おこしも必要だが、集落おこしも大切。住んでいておもしろいところになれば活気が出てくるのでは……自分の住んでいるところを楽しみたいところにする。それは、だれもやってくれないことだから、住んでいる自分たちが動かなくちゃね」

その話題づくりの仕掛人たるは、地元夏まつりでも花形役者の中島甲子生さん、村雲知巳さん、田口昌弘さん、今井明徳さんの名コンビ四人組みでした。

農業再出発!! 生きて融資の活用を… ～公庫支店長との懇談より～



村内の施設見学を終えてセンターで懇談会

村では、昨年の十一月から農林漁業金融公庫の委嘱を受け、収益性の高い土地利用型の農業経営を進めるうえで必要な農家意向調査などを実施してきましたが、その一環としての農業懇談会を十二月十七日、農林公庫東海支店の佐藤支店長はか関係者を迎えて行いました。

この懇談会の目的は、農作物の自由化に対抗できる一層の低コストを進めるとともに、担い手農家(六十才以下、年間百五十日以上就農)の育成を図るためには、農林公庫としてどのような方策が有効であるかを探ることにありました。

平成二年度末現在の公庫借入れ総額は、十三億三千万円。これは、ほ場整備や林道整備などの事業費の内、受益者負担に当たる分を借り入れた額です。その内訳は、林業関係が約四億五千万円、残り八億八千万円を農業関連融資として借り入れています。そして、この八億八千万円の借入れのうち約六億円が、土地基盤整備事業に融資されたものでした。

これらの償還に当てる財源は、本来、整備された基盤から投資に見合う収益を生み出してこそ活かした融資の活用といえますが、担い手農家が少ない現状ではこの償還を農業以外の労働報酬に頼ざるを得ない状況にある点が問題として指摘されたことでした。

このような状況を踏まえ、今後一層、担い手農家を育てるためのキメ細かな融資制度を早急に検討する必要があるとしたものの、このほど設立した「ふるさと企画」が、農産物販売の新しいマーケット開発を可能にする画期的な会社であるとして高い評価を受け、村の農業が再出発点にあることを確認し合っており、和やかな中に懇談会を終えました。

東京発! ホット通信



太鼓の打ち方を習う佳里さん(右端)

〇〇東白川クラブからのたより〇〇

ふるさとのよもやまばなしに花が咲き、檜茶太鼓の打ち出す響きに心をかよわせた東京東白川クラブ交流イベントから早二か月半がたちました。

時代は移り変わろうとも、想い出多き我がふるさとを子から孫へと語り伝えたい：そんな思いを胸に秘め親子三代で参加された川松恭子さん一家と伊藤靖子さんからたよりが寄せられました。

親子三代で上野の森へ

川松恭子(旧姓・安江・日向)

東京東白川交流イベントに親子三代で出席させていただきました。本当に楽しい会でした。

芸術・文化の殿堂上野の森に響きわたりました檜茶太鼓の感激は永久に東白川の人間である私たちの話題となって残ることと思います。石川啄木の歌詞にふるさとの山に向いて言うこととなし

ふるさとの山は ありがたきかな

東白川のみなさまに囲まれて誠にこの心境でございました。

村ぐるみ会社の設立等ますます村の発展ニュースを伺うたびに、強い力とアイデアの村として誇らしく思います。

私と東白川村の出合い

川松ゆり(恭子さんの娘)



全員合唱「ふるさと」を歌うゆりさん(右)

このたびは、母の故郷である東白川村との交流イベントに参加させていただきました。ありがとうございます。

私と東白川村の出合いは、まだ幼いころ夕食後にせがむようにして聞いた母の思い出話のなかからでした。

冬・真白な雪に包まれた山道をうりんこの行列を連れたイノシシ親子の話とか。離れた湯殿の中で聞いたキツネの遠吠や、しっぽの太い犬と思つたらキツネであったとか。村祭りやお正月の楽しい様子、発電所の水槽に流れる桜の花びらのあざやかな美しさ、また水遊び魚釣りの話等々、それからそれへと飽きる

ことの無い話でした。また、懐しげに語る母の顔を眺めていることも好きでした。

その東白川村へ初めて訪れたのは中学二年の夏でした。今は亡き祖母(安江かつ子)に連れられてのことでした。ですから今回の交流会にも太鼓の好きな娘を連れてちゅうちゃんく母と出席させていただいたのです。

そして、参加させていただいた広い会場には、今まで見たこともない大きな太鼓と、それを中心とした保存会の方々の素晴らしいパチさばきと音色、そして集った人たちの楽しい会話はどの人もみな懐かしい故郷を語り、ごちそうとそれらの人の輪の中に私がいる幸せを温かくうれしく感じました。

東白川村がこれからもたくさんの人々の手と笑顔の中で育っていくことを願いつつ、すばらしい会に参加させていただいたことを感謝しております。

檜茶太鼓を聞きたくて

川松佳里(恭子さんの孫)

私は太鼓が大好きです。だから、おばあちゃんに頼んで、東白川と東京との交流イベントの檜茶太鼓を聞きに行きました。

はじめは、いろいろな人のあいさつとかであまりおもしろく

なかったけれど、あいさつが終つたら「ドン」と大きな音がしたので、舞台の方を見てビックリしました。太鼓は太鼓でも一つでも大きかったからです。

それからあの太鼓の音を聞いていたら、心に「ドン」ドンツツとひびいてくるようでした。それに村長さんといっしょに手をつないで歌を歌ったり、おしゃべりをしたこともとても楽しかったです。

東白川村の越原には親せきがいいます。安江一朗君と洋平君、杏子ちゃんです。一昨年夏遊びに行きました。つちのこ祭りや川遊びなどいっぱい楽しいことがあったので、また遊びに行きたいと思っています。

会場までの道すがら

伊藤靖子(旧姓・吉村・平)

上野でのふるさと交流会の会場までの道すがら、不忍の池の端の街路樹は、すっかり黄金色に染まり、わずかな風にも舞い落ちる木の葉は、遠まわりの私を充分楽しませてくれました。

今年こそはクリスマスまでに素適な色合の手編のニットでおしゃれを楽しみたいと思いが、会場に着いた時はすっかり編上げたようなそんな満足な気分になりました。

94%がスポーツを支持！が、しかし...

スポーツ実態調査の結果

「していない」が七一%

昨年の七月、教育委員会が実施した「実年齢(五十代)におけるスポーツ実態調査」の結果がこのほどまとまりました。

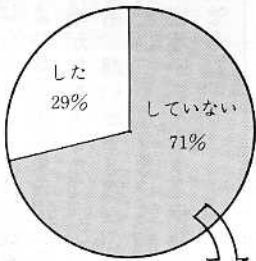
この調査は、五十代のみならずが地域・職場において重要なポストにあるがためにスポーツに接する機会を見失いがちな傾向にあるとして、その実態と意識を把握することで五十代に合ったスポーツ振興をより具体的に進めようというもので、村内在住の五百五十九人(男二百八十八人、女二百七十九人)を対象に実施しました。

回答率は、全体の六五%にあたる三百六十六人。男女別の回

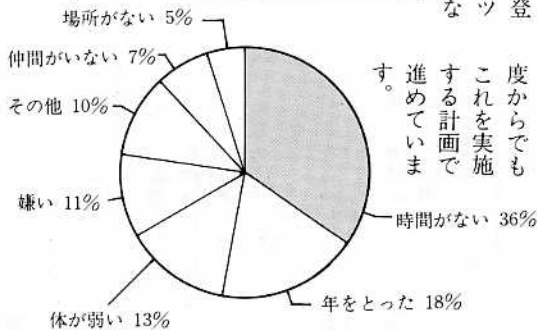
答率も全体を二分する形でバランスのとれた回答が得られ、その調査の結果を見る限りでは、スポーツに対する認識が非常に高いことが分かりました。

しかしながら、その認識と行動意識の間には大きな開きがあることが、図一と図三の結果にはつきり出ています。図一では、全体の七一%の人がこの一年間に、「スポーツを行っていない」と答えているのに対し、図三では少なからずとも「スポーツは必要だ」と答えた人が九四%も

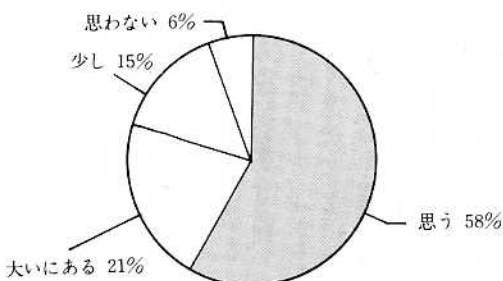
図一 あなたはこの1年間にスポーツをしましたか



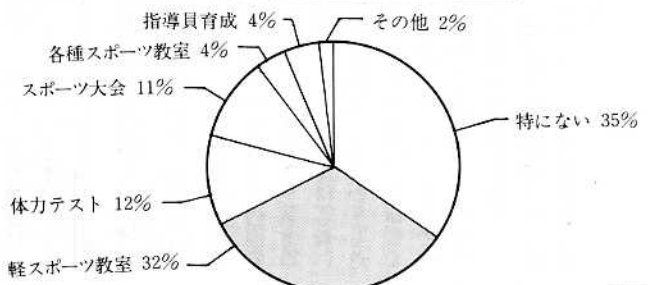
図二 あなたがスポーツをしなかった理由はなんですか



図三 あなたはスポーツをすることが必要だと思いますか



図四 あなたは今後どのようなスポーツ行事を企画してほしいですか。



あったのです。

この結果に図二でまとめられた「スポーツをしなかった理由」を考え合せてみると「スポーツを敬遠しているわけではなく、機会を見失っている」という傾向が伺えるようです。

ただ、「年をとった」「体が弱い」といった理由は、言い換えれば今あるスポーツの種目が実年齢に適していないということもいえましよう。つまり、スポーツという言葉の響きが非常にハードである、キツイというイメージに捕えられている結果ではないでしょうか。

では、「スポーツをした」という約三分のみなさんは、どんな種目に参加しているのでしょうか。競技的スポーツの中ではフットボール、綱引き、テニスが挙げられ、野外スポーツでは登山、ゴルフが、また軽スポーツではビーチバレー、健康体操などが挙げられており、その目的も「美容や健康・体力保持のため」「仲間づくりのため」「ストレス解消や気晴らしのため」といった体に無理のない範囲でうまくスポーツを取り入れています。

スポーツをした人、していない人をふくめて共通の種目を見いだせないかが課題のようですが、スポーツは必要であると答えた九七%の人が選んだ「今後行いたい」という種目の中で大半を占めていたのがビーチバレー、ゴルフであり、こういった気軽に出来る軽スポーツを推進していく必要があるようです。

村ではこの結果を基に五十代に合った種目の検討に入っており、新年度からでもこれを実施する計画を進めています。



華やかに成人式

五十一人が大人の仲間入り

雪が舞う寒い一日となった「成人の日」の一月十五日、新成人の新しい門出を祝う成人式が、村民センター大集会室で催され、対象となった五十一人の内、男二十五人、女二十一人、合せて四十六人が出席しました。

記念式典では、村から成人証書と記念品が贈られ、桂川村長から「ふるさとへの熱い想いを忘れることなく、若い情熱と新しい感覚を活力ある地域づくりに生かしてほしい」とあいさつ。次いで新成人を代表して神付の安江美和さんが、力強く誓いのことばを述べました。

記念式典終了後は、婦人会・青年団員ら関係者といっしょに記念撮影（写真上）。その間に会場は記念会食の会場に模様替えされ、今日初めて飲むおちよこ杯のお酒で乾杯！。なぜか物足りなそうに見えたのは気のせいでしょうか。会食の合間を縫って今井好美神職から玉串のささげ方などについての説明と、駐在所の中江部長から期待されるドライバークとしての話がありました。

午後からの記念講演では、田

口博前教育長の話に耳を傾け、新成人としての自覚を新たに希望に胸を膨らませていました。めでたく大人の仲間入りをした新成人は、次のみなさんです。

- （一）内は世帯主氏名〓敬称略
- ☆印は村内在住者十二名
- 【大口】村雲潤（寛）
- 【平】有賀浩幸（政晴）・今井宏直（邦光）・安江謙治（利勝）・安江由次（謙次郎）・中山美保子（勝弘）
- ・古田容子（さくの）・村雲千草里（一仁）

- 【下親田】☆伊佐治正敏（武司）
- 島倉俊介（正量）・安江晴貴（純徳）・安江誠（徳之）
- 田口志穂（耐）・村雲由理子（芳巳）

- 【上親田】木村朋人（成人）
- 島倉宏充（完）・古田和也（吉一）・加藤泰世（司郎）
- 【中通】村雲ルミ（早苗）
- 【神付】今井信和（光郎）・田口紀子（宗雄）・☆安江美和（啓次）
- 【中谷】河田淳司（康）・田口泰葉（芳宏）
- 【西洞】安江健志（吉信）
- ☆田口佳澄（節春）・☆村雲弘枝（恒雄）
- 【曲坂】☆今井良樹（ミユキ）
- 荻田博行（節也）・村雲英

- 成（春夫）
- 【日向】☆青木昭人（佳一）
- 青木ゆかり（二博）・熊澤恵理子（光介）・☆藤掛美智（学）
- ・牧野由子（三造）
- 【陰地】松岡晃二（勝司）
- ☆村雲滝夫（和男）・安江真（浩）
- ・安江実（春好）
- 曾我聡子（修）
- 【栃山】☆松岡ちなみ（久子）
- 【黒淵】安江さおり（真一）
- 安江直美（正衛）
- ・☆安江まゆみ（勝彦）
- ・安江睦美（正衛）
- 【大明神】桂川克幸（耕輔）
- 安江良尚（竹良）
- ・安江こと（てる）
- ・☆安江智子（旧性〓川尻・巖）
- 【柏本】今井俊太（怜）
- ・☆安江京二（源一）

こんなにスマートになりました



大変身 / 診療棟正面玄関

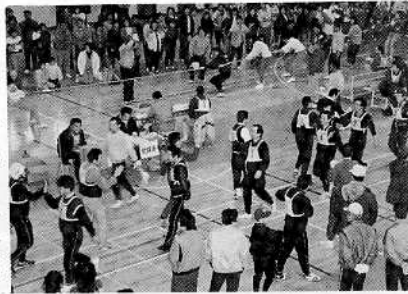
総事業費一億八千八百八千円という縁起のいい末広がりの数字が並んだ「東白川病院診療棟改修工事」が、冬場の厳しい条件下でも三か月という短い工期ながらも無事故で予定どおり完成し一月十九日、村民センターで新藤県議会議員ほか多数の来賓関係者を迎えて竣工式が行われました。

今回の大改修工事は、建設以来二十五年余を経て初めての工

事であり、その内容も東側にあつた玄関を西側に変更し併せて受付・診察室等の配置を変えたこと。さらに冷房設備の新設、鉄製建具の取替えによって車の騒音による診療への影響を解消。四季を通じて快適な環境で診療が受けられます。もちろん内外とも明るくスマートに変身し、診療棟、病棟、母子センターの玄関口が向い合せになり総合的に利用しやすくなりました。

引く

レベル上がった 村民ふれあい綱引き大会



力を出し切ったあとはなごやかな光景が...

八人全員が地下たびで臨んだ
栃山・黒淵三十五歳以下女子
背の高い順に選手を並べた上、
下親田三十五歳以下男子など、
どのチームもこれまでにない新
しい作戦をもって臨んだ第四回
村民綱引き大会が一月二十七日、
東白川小学校体育館を会場に開
かれ、総勢五十四チーム約六百
人の選手が参加して終始なごや
かな中に熱戦を繰り広げました。
試合は、前年五冠王を取った
上・下親田が上位入賞を果たし四
年連続総合優勝を手中に納めた
ものの種目別優勝は各チームに
分かれる結果となり、全体的に
レベルが上がった大会となりました。

▼種目別成績 ◆総合成績 優勝—上・下親田（4年連続） 準優勝—中谷・加舎尾・西洞

区分	無差別級男子	無差別級女子	35歳以下男子	35歳以下女子	49歳以下男子	49歳以下女子	50歳以上男子	50歳以上女子
優勝	上・下親田	神付・中通	陰地	中谷・加舎尾・西洞	日向・曲坂	中谷・加舎尾・西洞	陰地	日向・曲坂
準優勝	神付・中通	中谷・加舎尾・西洞	栃山・黒淵	栃山・黒淵	柏本・宮代	上・下親田	日向・曲坂	—
3位	—	平上	大口・平下	—	—	陰地	上・下親田	—
	—	—	上・下親田	—	—	—	—	—



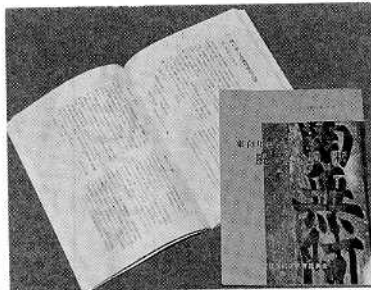
石碑は土地改良碑の横に
が少なくなり、一日でも早
い建立を望む声が高まって
きていました。

建てる

分校の思い出を偲んで 石碑を建立

在りし日の母校を偲び、昨年
の暮れ組長をはじめ在任の卒業
生らが中心となって、「大明神分
校跡」と記した石碑を農村公
園横に建立しました。

高さ約一丈九寸、幅約三十
センチの石柱は、教育委員の退任記



刊行された「東白川村の廃仏毀釈」

つづる

百二十年を経て廃仏毀釈の 謎が今、明される

教育委員会発刊の東白川村の
石像物に次ぐ四冊目の『ふるさ

とシリーズ「東白川村の廃仏
毀釈」が約二年を費いやしてこ
のほど編さん刊行され関係者の
間で好評を呼んでいます。

この冊子の発刊は、ふるさと
の歴史に徹底的な変革をもたら
した「廃物毀釈」について分か
りやすくまとめてみたい……そ
んな願いをずっと温めてこられ
た前教育長の田口博さんをはじ
め村史研究会、村文化財審議会
のみなさんの長い年月をかけて
収集された資料がこの一冊にま

- 念にと田口勝司さんが寄付され
たもの。「二人集まれば分校のよ
もやまばなしに花が咲く……」と
いうほど思い出多きかつての校
舎と教員住宅の跡地は、昨年の
六月大明神農村公園に生れ変り
ましたが、大明神に住む若い人
ですらそこに越原小学校の
分校があったことを知る人
が少なくなり、一日でも早
い建立を望む声が高まって
きていました。
- （ん） 誕生おめでとうございます
 - （ば） （上親田）早瀬 章 裕次郎
 - （じ） （大明神）安江 達或 伊代 弘子
 - （い） いつまでもおしあわせに
 - （け） 長谷川 正利（大明神）
宮下 育子（長野県上松町）

とめられており、東白川村とし
ては百二十年経過して初めて廃
仏毀釈の冊子ができたことにな
ります。

この資料では、四つ割りの碑
石の製作者とされていた「伝蔵」
の由来が明確になったことなど、
今回、事実として確認されたこ
とが多くあります。「これを機に、
多くの人たちが東白川村の歴史
に関心を持ち、村を愛する心を
さらに高めていただければ……」
とあとがきを残された田口博さ
ん。一家に一冊ぜひお求めくだ
さい。

◆「東白川村の廃仏毀釈」
一冊 一〇〇〇円（104ページ）
ご購入は、役場窓口か教育委
員会事務局へどうぞ

合せる

歌声高らかに伝統を受け継ぐ合唱コンクール

「クラスの団結を生かし歌を愛する心を育てよう」をスローガンに十年の伝統を受け継ぐ東白川中学校「合唱コンクール」が一月三十一日、同校体育館で開かれ、詰めかけたおおぜいの父母らは一年間の練習の成果を歌い上げた生徒たちの美しいハーモニーに、うっとりとして聴き入っていました。

そんな会場に、ビデオデッキを抱えハアハアと息を弾ませて飛び込んで来た懐かしい先生の姿がありました。昨年本校を転勤された牧村一也先生です。「もうこれだけが楽しみで休を取ってスッ飛んで来ました。合唱の途中でしたが三年生の歌声を聞いた途端、踊っていた心臓もスツと静まり、うっとりとして聴きました。」



先輩の貫ろくを見せ金賞を取った3年生



まるでサラマンカ合唱団の来村を思わせるすばらしい歌声の白校音楽部

やや緊張きみだった生徒たちも駆けつけてくれた恩師の顔を見てホットやわらいだ様子だったものの、本校の生徒以上に緊張していたのが白川高校に在学中の先輩諸君でした。

実は、今回の合唱コンにはステキなお客様をお迎えしてあったのです。岐阜県合唱コンクールで金賞を受賞し全日本中部大会出場の実力を持つ白川高校音楽部三十六人のみなさんです。その中に本校の先輩が、部員として十一人も参加しており、部を代表してあいさつをした下野の山口真智さん(二年)は、「いろいろな大会に出場してきたがこれほど緊張したのは始めて」と母校での初めての披露に胸の内をのぞかせていました。

打つ

新春！将棋大会で頭の体操

相手の先手を読みながら駒を打つ将棋は新年の頭の体操には



将棋を通じて交流を深める参加者

もってこいとあって、村内の将棋ファンら中学生三人を含む十三人が参加しての第十三回新春将棋大会が一月三日、村民センターで開かれました。

大会成績 (敬称略)
 ◎小学生の部 優勝―田口房国・二位―安江将行・三位―安江和隆 ◎一般の部 優勝―安江勝哉・二位―河村繁治・三位―安江鈺夫・四位―安江英之
 今年も毎月十五日を将棋の日と定め練習を行います。

興す

ふるさと企画設立！これがらが経営手腕の見せどころ

「村おこし会社旗揚げ」活性化の起爆剤/村民も九十八人が出資」(中日新聞) ▼「ふるさと売り出せ/アイデア続々/特産品育成などにも力・将来は住宅の受注販売も」(岐阜新聞)

▼「物産品扱うふるさと企画」(朝日新聞) ▼「若者が住める村へ」特産品開発や観光事業」(日本農業新聞)

一月二十三日、資本金二千五百万円(村出資)四百株・二千

今回の設立を機に、村民、縁故者のみなさんの株主の募集を開始します。ご協力ください。

株主ほか関係者など約百二十人を迎えた総会では、代表取締役社長に村長が就任。二名の職員も内定し、いよいよ四月から「村ぐるみ振興会社」として始動します。

は、このほか毎日・読売新聞を含めた各社新聞を晴れ晴れしく飾りました。

株主はふるさと企画の設立総会のもよぶ第三セクター「株式会社ふるさと企画」の創立総会のもよぶ

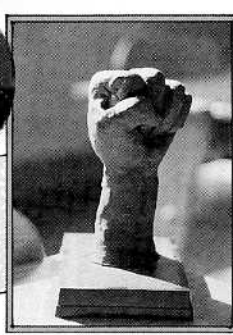
【越原センター備品購入】現金五万円―越原奉賛会

【社会福祉協議会へ】現金三万円―安江憲八(大明神)・現金五万円―小池義行(中谷)・現金一万円―婦人会神戸支部

【越原保育園へ】絵本二十五冊―安江明夫(陰地)

おくやみ申し上げます
 (ん) 小池 和男 85歳(中谷)
 (ば) 安江マカゑ 81歳(大口)
 安江 恵吉 87歳(下親田)

わたしの作品



◀働く手(つかむ手)
東白川中学校2年
小池直之さん
(平)



働く手(にぎる手)
東白川中学校
2年
田口房国さん
(陰地)



◀東白川小学校六年
大坪美恵さん
(西洞)



深い友情

六年 大坪美恵

おいらせ



より豊かな年金を保証する

「国民年金基金」がスタートします

現在、自営業の方等の年金による保障は基礎年金のみでした。これに対して、サラリーマンは基礎年金に上乘せして、厚生年金と厚生年金基金があります。そこで、サラリーマンとのバランスを考え、自営業の方等のために基礎年金に上乘せしてより豊かな年金を保障する新しい年金制度、「国民年金基金」がこの四月よりスタートします。

- ◇加入できる人は………
- ◇自営業等の方々(第一号被保険者)が対象となります。農業者年金加入者や、保険料免除者は加入できません。
- ◇年金給付は………
- 基本的には三種類で、いずれも終身年金です。
- 加えて、十五年保証型やボーナス給付型があります。
- ◇掛金は………
- 選択された年金と、加入時の

年令により月額が決まります。又、掛金全額が社会保険料控除の対象となります。

この制度についての詳しい内容は、役場住民係(有線二一六二)までお問い合わせください。

学生諸君

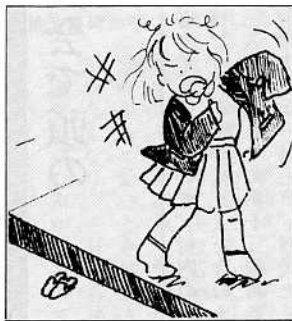
二十歳になったら

「国民年金」に加入

今まで二十歳以上の学生は任意加入とされてきましたが、平成三年四月から必ず加入することになります。

- ① 今まで任意加入していなかった二十歳以上の学生については障害の状態になった時、年金給付は全くありませんでしたが、四月からは全員が加入することにより保障もアップします。
- ② 学生時代の万一の障害事故にも障害基礎年金が支給されます。
- ③ 二十歳から加入すると満額の年金が支給されます。
- 又、保険料納付困難の方には免除制度があります。
- 学生の皆さんで四月に二十歳

ふるさとのことば 24



☆ やわう

「えろうやわうって出かけないたのう。どこい行きなれる」「あん、親戚に祝言あるもんやでの」「こんな会話を聞くことがあります。

「やわう」は「装う

「着飾る」という意味

です。要するに「なり

を飾る」ということで

「もう少し着飾って行

きなさいよ」というと

き、「もうちょっとや

わって行きなさいよ」な

どと表現します。

「やわう」と同じよ

うな意味の言葉に「き

おう」があります。

「めかす。しゃれる」

という意です。「やわ

う」とは微妙にニュア

もったとき「やわう」が「きおう」になるようです。

冒頭の会話の「やわう」を

「きおって」と入れ替えてみて

ください。お分かりいただける

と思います。この「きおう」、

漢字を宛てたら「気負う」とな

るでしょうか。

さて、話を「やわう」に戻し

ます。

「装う。着飾る」という意

の「やわう」は、岐阜県でも飛

騨や郡上、東濃などに限られた

極めて狭い範囲でしか用いら

ていないようです。

「やわう」はまた、「準備す

る。用意する。支度する」とい

う意味も持っています。「はよ

うやわわんとバスに遅れるよ」

「やかましいこと言いなれん

よ、やわようおるで」と、ど

かへ出かけるときの忙しいやり

取りがあったり、「おっつけ式

や始まるが、やわいはええか

(間もなく式が始まるが準備は

よいか)と言ったり、「夕御飯

やわつたに食べてつとくれ」と

いう誘いに思わず時を過ぎて

しまったりなど、この語は「準

備する。支度する。用意する

深い友情



東白川小学校
1年
田口義貴さん
(上親田)



おにのめん
越原保育園
たぐちあらたくん
(4歳一大明神)



おにのめん
越原保育園
やすえまいこちゃん
(4歳一大明神)



◆訂正とおわび…先月号のやすえけんすけくん(平)は(神付)の誤りでしたので訂正しおわび申し上げます。



今月の図書

美貌の女帝

永井 路子著



女の幸せをも犠牲にして政治に身命を捧げた氷高皇女の守り抜こうとしたものは——。壬申の戦を経て藤原京、さらに平城京へと都が遷る激動の時代、皇位を巡って演じられる骨肉の争いを、女の側から描いた長編歴史小説。

流転の海 (第1部)

宮本 輝著

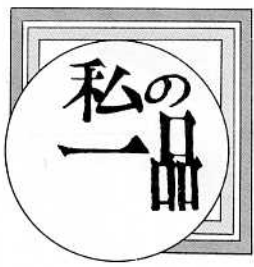


戦後の大阪を舞台に成功と失墜を繰り返す実業家の父と、非情な運命に翻弄される母と子の波瀾の人生。著者自らの「父と子」を綴る大河小説です。

を越えている人は四月に、また四月以降に二十歳になる人はその時に、届出をしましょう。
労働時間が週44時間制に改正されました
週四十時間労働制。つまり週休二日制に向けての第二段階の処置として、これまでの四十六時間労働制を改め、四十四時間制とする労働基準法の改正があり、今年四月一日から実施されます。

進めています=ふるさとづくり

- ◆工事入札結果 (工事名・工事箇所・事業量・事業費・施工業者・完成日・事業主体の順になっています) —敬称略—
- 【平】平用水改良工事・中学校前～神付谷・延長 145.5m・6,180千円・山田土建(株)・3/30・村 ▶沢尻橋詳細設計委託業務・測量 150mほか・4,120千円・(株)興栄コンサルタント・3/20・村 ▶防火水槽建設工事・中村十美宅付近・地下式40m²1基・3,193千円・新田建設・3/20・村
 - 【下親田】親田農村公園整備工事・村雲次郎宅上・面積960m²ほか・4,789,5千円・丸登建設(株)・3/20・村
 - 【西 洞】防火水槽建設工事・小池勇宅付近・地下式40m²1基・3,193千円・新田建設・3/20・村



買い物のお供



「私にとってこのカゴは「買もののお供」。雨の日も風の日も、毎日、毎日大切な食品を一度も痛めることなく食卓に届けてくれました。もう二十四年の付き合いになります」と、愛着のあるかごを腕にひょいと掛けて見せてくれたのは、広報座談会に消費者として出席してもらっていた平の田口恵津さん(67)です。

カゴを手に笑顔いっぱい田口さん

「このカゴは、一番下の娘が中学一年生のとき、二人の友達と初めて太田へ遊びに行ったときのお土産です。小遣いを持たせたわけでもないのに、いい買物をして来てくれたと感心したものです。さぞ太田へ行ったのが嬉しかったんでしょね。今から思えばまるで海外旅行にでも行った気分だったと思いますよ。当時としてはハイカラで、普通は持つところが折れたためるように側面に一本づつ二本付いています。これは一本でも固定してありましたが、買い物には少し不便でしたが、持ちやすさと丈夫さが取柄。材料は、アケビのつるで作ってあると聞いています」

「買ものはカゴでなくちやならんのです」と、とんとんこだわっておられるのも「袋だと破れることもあるし少し当たっただけで卵が割れたりする。その点、カゴは安心でしかも腕に掛けられるから重さがこたえない」と、今では娘さんの孫もお供に加わって買い物に出掛ける田口さんです。

わが家のスター

満1歳

たくみ
三戸拓美くん
(行美さん・美穂さん
長男＝大明神)



ゆき
今井由美ちゃん
▲(孝司さん・鶴代
さん長女＝中通)



りゅうご
太坪隆吾くん



しおり
古田詩織ちゃん
▲(俊之さん・竜子さん
長女＝柏本)



ありさ
村雲有紗ちゃん

▲(孝由さん・恩
さん長男＝平)

(知巳さん・ちほみさん
長女＝西洞)

広報文芸

短歌

河内野に子等住む家を訪れぬ共に住まむとカナリや連れて
掌に受けてつくづく見れば雪虫の綿毛の中は凜とした顔
宇宙飛行士秋山さんを見送れる夫人は涙押えきれず
朝の陽に雪白く照る槍ヶ岳登りて見たしと思ひつつ仰ぐ
技張れる冬の櫛のあなたより輝き昇る朝日をおがむ
夏は川冬は山にと猥好みし白髪の亡父を夢に見ぬ昨夜は
我が髪に君の掌あつく触れればしはしの迷ひ
ほぐれゆくらし
風寒き軒につるせる干柿を学童等指差し何かを叫ぶ
ゆつたりと宿の湯舟にひたりつつ見知らぬ人と話はすみぬ
黒こげのソニーズを降り雪原に人は言ひたり空気がましと
通院も今日で終りぬ庭隅のハツ手の花に名残り惜みつつ
厨房に鼻歌混りに葱刻む妻亡くてわが味は好みに
ゆずを敷き煮る落鮎の香に立つを暮に贈らん親しき人に
片手背に腰をかめて吾が真似をしつつ笑はず孫は三才
無事冬を越えたる鯉の七千尾寝屋に入入りし来る春を待つ
秋深み他郷に病めば今日もまた思はぬ友の訪れうれし
イラクより帰りし夫と待ち侘びし家族は迎えむ良き正月を
並べたる漬物幾樽それぞれに味の違うも楽しきことぞ
暖冬に味変るかと漬込し白菜と蕪に塩など足しぬ
古文書の文化文政「萬日記」墨色の艶今に鮮し
あなたの作品をお寄せくださいー初心者、とくに若い人たちの投稿を
歓迎します●偶数月の二十日までに神戸伊藤重雄宛に出して下さい。

田口 一枝
小池 弘子
安江すみよ
古田よし江
小池きぬゑ
早瀬 勇造
小林 道子
安江 守平
安江 節子
今井 かな
三戸 きり
安江 香
安江 竜玉
村雲 うめ
早瀬 久子
安江とくよ
安江 澄
安江 幸
伊藤 美枝
伊藤 重雄

立村百年記念植樹

梅の話

ものまね上手というのが古い時代の日本人に対する世界的な評価であった。今ではそう思う人も少ないが、ある種の既定事実、に新らしい発想と工夫を加えて、日本のなものに育て上げる技術はやはり世界一である。

▼「カツ井」「カレイライ」などがその代表的なものであるが、チューインガムもそのひとつである。ガムは日本を占領したアメリカ兵たちによ

って広まり、その後国産されるようになった外国生れの菓子であるが、日本人はそれに「梅ぼし」の味をつけることを考えた。今ももちろん市販されている「梅ガム」の登場は昭和三十六年頃である。「梅ガム」というのはいかにも日本的でそれなりになつくことができるが、実に驚くことに「コーヒーガム」も日本のオリジナルであり、ガムの本場アメリカにも無いという。▼さて、「梅は咲いたが桜はまだかいナ」という歌の文句のように、梅と桜の開花期の差は、東海道筋では二か月近くあるという、しかし私たちの村では年によっては梅と桜がほとんど同時ということもあり寒冷地ほどこの傾向が強い。▼桜は特別な種類を除いてはほとんど同時にパッと咲いてパッと散るのに比べ、梅は品種や土地によって早く咲くものから遅いものまで多種多様であり、花の色も白梅、紅梅と個性的な面が多い。ふたもとの梅の遅速を愛すかな」という無村の俳句は梅の個性をうたったものである。立春を過ぎて陽ざしのなかに春がのぞくようになった、ふきのとうはもう水辺に丸くなっている。「梅一輪一輪ほどのあたたかさ」の季節である。